

三重弁護士会館（仮称）設計管理業務技術提案プロポーザル 審査結果と審査講評

第1 審査結果

三重弁護士会館（仮称）設計監理業務技術提案プロポーザルについて、審査委員会は、新会館建築設計監理委託契約締結の優先交渉権者となる最優秀者に、FULL POWER STUDIO（株）を選定した。

第1次審査は、平成31年4月11日、同月17日の2回にわたって審査を行った。1回目は、本プロポーザルに参加した20者から提出された書類のうち、技術提案書及び説明図を審査資料として参加者の比較検討を行った。2回目は、設計者経歴等関係書類や、同月9日から15日にかけて実施された会員アンケートの結果も審査資料に加え、議論を重ねた結果、募集要項では優秀者3者を選定することとされていたが、応募数が想定より多く、優れた提案が多かったため、4者を優秀者として選定することとなった。

第2次審査では、優秀者4者を対象として、5月17日に実施された公開プレゼンテーション及び審査委員によるヒアリングの結果や、同月17日から24日にかけて実施された会員アンケートの結果ももとに、同月28日に審査を行った。設計者としての提案力、熱意、柔軟性、コミュニケーション能力、監理体制等を総合的に評価し、新会館の建築設計監理業務を委ねるに最もふさわしい者を選定する見地から、議論を尽くし、厳正に審査を行った結果、冒頭に述べた結果となった。

第2 審査講評（なお、優秀者の掲載は順不同）

1 最優秀者：FULL POWER STUDIO（株）

1次審査の段階から、意欲的な内容として高い評価を得た提案であった。2階をメインフロアとし主要な機能をまとめ、ハイサイド等からの光が溢れるオープンな構成は、機能的であり空間としての魅力を備えている。弁護士会の活動を慮り提案された、開放的なクリエイティブラウンジなど数々のアイディアは、新たな弁護士会の拠点としての可能性を広げるものとして期待できるとの意見が出された。今後、会員との議論を重ねて、さらなる可能性を追求していこうとする設計者としての姿勢についても高い評価を得た。受付と事務室のあり方やメンテナンス性とシンボル性を兼ね備えた外観のあり方など、検討すべき点もあるが、関係者と十分なコミュニケーションをとることにより、魅力ある弁護士会館の実現が期待できる設計者として、最優秀者に選定するに至った。

2 優秀者：（株）シーランカンズアンドアソシエイツ

コスト抑制への配慮等から、シンプルかつコンパクトにしながらも、アクセスがしやすい1階は相談室と事務室がゆとりをもってまとめられ、2階は効果的に設け

られた中庭の周囲にすべての部屋が無駄なく回遊性をもった平面として配され、天窗や中庭といった各所からの光の効果も十分に考えられた、構造や環境、維持管理までを含めた完成度の高い提案として評価された。審査の最後まで最優秀者と優劣つけ難く、審査員の高い評価を得たが、提案書で提示された建設費とヒアリング時点でのその説明の不明瞭さに対して疑念の声もあり、最優秀には至らなかった。

3 優秀者：(株) 東畑建築事務所 名古屋事務所

総会ホールを含む主要な機能を2階にまとめ、コンパクトなボリュームとしながらも、透かし積みレンガや交差点部の円弧状の隅切りなど、他の案とは異なる落ち着いた外観の提案が特徴的である。大手組織設計事務所ならではの実績に基づくコストコントロールへの信頼感についても高く評価されたが、廊下が長くやや窮屈な感が否めないことや、眺望を活かすべき2階南面が閉じており、新たな弁護士会館としては保守的な印象が強いなど空間構成についての懸念が指摘された。

4 優秀者：(株) 建築デザイン研究所

浸水対策から地盤階全面をピロティとし、その上に浮かぶガラス張り建物に大階段で上がっていくという印象的な提案である。「つながるかたち」をコンセプトに、透明感あふれる外観、階段下を利用した多目的なダンダンルームなど、さまざまなアイデアに対して高い評価を得た。一方で、全面ガラス張りゆえの日射遮蔽に対する配慮や、植栽を施してはいるものの地盤面がすべて駐車場であり、道路レベルでの建物の見え方等について懸念が示された。